

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 9日

大分県知事 佐藤 樹一郎 殿



提出者 〒872-0312

住 所 大分県宇佐市院内町櫛野895番地

氏 名 株式会社九州イチタン

代表取締役 荻野 英司

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0978-42-7001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 九州イチタン
事業場の所在地	大分県宇佐市院内町櫛野895番地
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

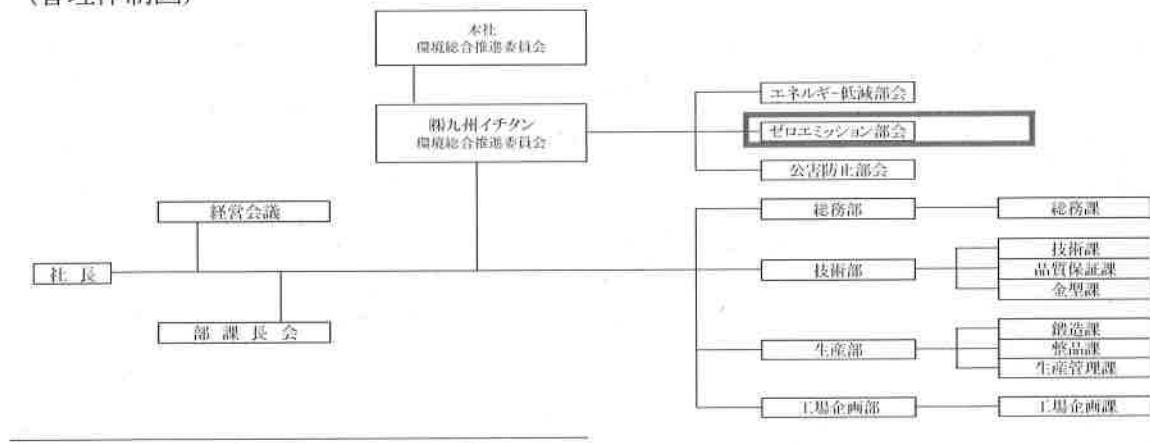
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E24 金属製品製造業
② 事業の規模	36億5千万円 2022年度売上高
③ 従業員数	124名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（2022年度）実績】				
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油			
		排 出 量	39 t	1255. 32 t		
(これまでに実施した取組)						
②計画	・ドラム缶残グリースの再利用					
	・離型剤装置の定期交換で故障停止による塗布量削減					
		【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油			
		排 出 量	31 t	1155 t		
(今後実施する予定の取組)						
・離型剤吹付け装置水洗浄の水量削減						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <分別種類>木屑、廃プラスチック類、ゴム、ガラス陶磁器、廃油、紙屑等 社内規定に基づいて分別・保管を実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 社内規定に基づいて分別・保管を実施維持継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	39 t	1255.32 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥 廃油
	全処理委託量	31t 1155t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t t
	再生利用業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t
(今後実施する予定の取組) 離型剤故障による塗布量の削減（ユニット予備品製作）		
※事務処理欄		